
恋の唄

テト

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

恋の唄

【Nコード】

N1033P

【作者名】

テト

【あらすじ】

へたくそですが暇な方は読んでみてください。
恋は思い切って行くのが一番という詩を作りました
いってることわかりませんね・・・ww
とにかく読んでみてくださいねww

君と初めて隣の席になった

全然僕のタイプじゃなかった君は

全面的に普通だった。

初めて君としゃべった

君の印象が僕の中で変わった

だけど、しゃべっているうちに君のことを気にするようになった

止まらない心臓の鼓動

僕の鼓動がどうか聞こえませんかように・・・

そう思いながらもうつひとつのことを考えた

好きになったけど、君には彼氏がいるんだよね。

僕はため息をつきながら

君のほうに顔を向けた

そして、昼休みの時 偶然君と話せた

話の成り行きで 彼氏いるのと聞いてしまった。

しかし、僕の考えていた言葉よりも違う言葉が出た

いないよ

僕は、心の中でガッツポーズをした。

そのあとは、どう君を誘うか　どうやって告白するか考えた

そして、ついに運命の日が来た。

僕が君を呼び出し

君は照れくさそうに　何？と聞く

大事な話があるんだ

その瞬間僕の頭に入っていたセリフが飛んで行った

あの、あの・・・

沈黙のまま時がいたずらにすぎ

君は帰ろうとする

あゝもうどうにでもなれだ！

大好きだ！ばくは思い切って言った

君の反応はトマトみたいに顔を赤くしながら

私も！と校舎に響く声で言った

僕は口をぽかんとあけながら

君の顔を見た

君は笑っていた

今日からこの笑顔を独り占めできるのか

そう思うとうれしかった

よかった思い切っていっておいて・・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1033p/>

恋の唄

2010年11月24日02時43分発行